

01 製品の特徴

コンクリート補修・仕上げのかんたんボカシ剤は、通常のスプレー塗料のようにセメントをスプレーし、コンクリートの『面の美観回復』することができる新しいタイプの補修材です。地球環境に配慮した代替フロンと超早強セメントを独自の技術で処方したウェット噴射型で、従来のセメント・スプレー製品のように引火爆発の危険性もなく、粉塵を撒き散らすこともありません。

補修の痕跡、サビ汁や油分の雨だれ模様、接着剤の付着痕、細かな亀甲ひび割れ等、問題になりやすいコンクリートの『面の欠陥』。このスプレーは、対象箇所を水で湿らせ、スプレーするだけで、色や風合いの違いを絶妙にボカして、目立たなくすることができます。



▶ 不燃性溶剤と超速硬セメントを混合したスプレー塗装型のセメント

不燃性溶剤と超速硬セメントを独自処方で混合し、ウェット状態で噴射するセメントのスプレーです。

超早強セメントを使用しているため、素早く・簡単・キレイに仕上がります。

▶ コンクリート面への高い定着率

ウェット噴射により、高い定着率を実現しました（他社比）。

セメントが飛散しにくいいため、作業もしやすく経済的です。

専用の定着強化液を使用すれば、さらに高い付着力を得ることができます。

▶ 不燃性材料による高い安全性

不燃性溶剤と不燃性ガスを用いているため、従来のセメントスプレー製品のように、噴射時に発生する静電気を低減し、火気による発火が無く安全です。

▶ 3色揃って色合わせが可能



気になるコンクリート面の色ムラ



スプレー後は自然な仕上がり！

02 仕様と色

↓ 本製品の硬化後の色の目安 ↓		
L (淡)	R (標準)	D (濃)

【製品色について】

1. 上記色見本帯は"本製品に水を与えて硬化させた後の色の目安"を示しています。
2. 色味=赤っぽい・青っぽい が完全に一致しなくとも、明るさ=白さ・黒さの程度を合わせることで、概ね自然な仕上がりを得ることができます。
3. カラープリンタ、特にインクジェットプリンタで印刷すると通常"実際より濃く表示"される可能性があります。
4. パソコンのモニタでの表示は概ね正確に表現しています。
5. 本製品の色は添加する水分の量や環境によっても幾分変動します。

本製品は周囲との色調差をできるだけ少なく、即ち補修の痕跡が殆ど判別できないように美観を回復することを目指すため、数百カ所におよぶ市中のコンクリート表面の色調をサンプリング・デジタル処理し、コンクリートの代表的な色調を選定致しました。この色調範囲には、骨材の色の影響を強く受けたコンクリート等、適用範囲外もありますが、一般的な"コンクリートの色"として広い範囲を包含しています。

【製品仕様】

製品名称：不燃性超早強セメントスプレー

用途：コンクリート・モルタル面の美観回復用，表面補修及び仕上げ剤

主成分：超早強セメント，HFE（ハイドロフルオロエーテル）

製品色：淡(L)，標準(R)，濃(D)の3色

荷姿：スプレー缶 450g/本

乾燥時間：10(夏期)～20分(冬期)

硬化時間：3～4日 完全硬化するまで約1ヶ月間は施工面に触れないでください。

塗り面積：2回塗りで1.2～2m²程度

品質保持期限：室内保管下，未開封状態で製造日より24ヶ月以内

関連別売品：専用定着強化液（使用することにより付着力が向上します。）

03 使用方法

以下の様なコンクリート打ちっ放し面の色ムラ回復に用いる事が出来ます。施工対象は壁面とし、屋根や床には使用できません。

- ・コンクリート表面の色ムラ修正、ボカシ
- ・目立つコンクリート補修跡の修正、ボカシ
- ・露筋部のサビ隠し、サビ汁跡の回復
- ・コンクリート表面の接着剤などの汚れ、タレ跡の回復



上写真：スプレー時の様子

1:Start! 中央に露筋している型枠継ぎ目。	2:清掃 表面の泥汚れ、ホコリを取り除く。	3:水湿し 施工箇所を水湿しする。ムラを防ぐため濡らし過ぎに注意。
4:攪拌 約30秒間（60回以上）攪拌球の音をさせながら、よく振る。	5:噴射 20～30cm離し、ノズルを移動させながらスプレーする。	6:噴射後 噴射終了後、色が薄いようでしたら2度吹きをする。
7:ノズル清掃 使用後は必ず、缶を逆さにして約2秒間噴射する。	8:水吹き 施工箇所に霧吹きで軽く2～3回に分けて水を吹きかける。	9:Finish! 3～4日は施工面に触れないように注意する。

専用定着強化液について

付着力を向上させたい時は、別売の定着強化液を用います。上記手順3で水の代わりに「水で7～8倍に薄めた定着強化液」を使用し、施工箇所を水湿しします。同様に手順8の水吹きにも使用します。



04 物理的性能

始発時間（硬化開始時間）

「JIS R 5201セメントの物理試験方法」でモルタル試験をした場合の硬化時間です。実際の施工では水を吹きかけて硬化させるので、この数字は目安と考えてください。水を噴霧して初期硬化させた後、空気中の湿気や雨水で硬化が進行します。コンクリートと同様に施工後1ヶ月までは強度が増進していきます。

条件温度	30	20	5
時間（分）	10分	15分	25分

L,R,D 3色共通

定着率

本品は揮発性溶剤でウェット状態にしたセメントをスプレーしています。このため、壁面への定着率が非常に高くなっています。定着率は市販のセメントスプレーの31%に対し、2倍以上の68%となりました。さらに、飛び散るセメントがほとんど無いため、周辺を汚すことがありません。

一方、市販のセメントスプレーは、ドライ状態のセメントを噴霧するため、壁面への定着率が悪く、周辺にセメントが飛び散ってしまいます。

社内試験方法

定着率 = モルタル板の増加量 / (モルタル板の増加量 + 容器の増加量(全噴射量))

- 1) 縦横500×500mm、奥行き600mmの容器内に、試験体として300×300mmの水湿したモルタル板を置く。
- 2) 25cm離れた位置から3秒間セメントスプレーを噴射。
- 3) その後、モルタル板の重量増加量と容器の重量増加量を測定した。

社内試験結果

本品 : 平均68%

市販セメントスプレー : 31%

付着強度

試験方法__建研式付着試験

通常手順にて施工した状態で測定しました。アクリルエマルジョンの定着液を用いると、接着硬化により壁面への付着は良くなります。水のみで硬化させた場合でも、十分な付着が得られ、自然な仕上がりとなります。状況に応じて使い分けてください。

条件	1日付着強度	3日付着強度	7日付着強度	28日付着強度
水のみで硬化	手で取れる。 測定不能	手でもあまり取れない。 測定不能	0.4～0.6N/ mm ²	1.1～1.3N/ mm ²
アクリルエマルジョン定着液を使用	手で少し取れる。 測定不能	手ではほとんど取れない。 測定不能	0.5～0.7N/ mm ²	1.3～1.5N/ mm ²

アクリルエマルジョン定着液とは弊社別売品の定着強化液のことです。

使用上の注意

人体に害がありますので、粉塵を吸引したり飲み込んだりしないで下さい。
皮膚がかぶれる恐れがありますので、使用時には保護手袋を着用して下さい。
目に入ると障害が生じる恐れがありますので、保護眼鏡・保護面を使用して下さい。
取扱い後は、良く手を洗って下さい。
屋外または換気の良い場所でのみ使用して下さい。
引火物は含まれておりませんが、溶剤のHFEが分解する可能性がありますので、使用中の喫煙および火気のある場所では使用しないで下さい。(HFEは高い温度に加熱された場合、微量のPFIB・フッ化水素を含む有害な分解生成物を生じる場合があります)
炎天下やコンクリート面が熱い時は、シミ・色ムラ・付着不良が発生する原因になりますので、使用しないで下さい。
風の強いときは、粉塵が多量に発生しますので、使用しないで下さい。

保管上の注意

幼児の手の届かない所に保管し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
中身が漏れたり破損する危険がありますので、湿った場所などスプレー缶がサビやすい所や、直射日光のあたる所・自動車内・暖房器具の周辺など、温度が40℃以上になる所に置かないで下さい。

応急処置

万一飲み込んだ場合は、直ちに水でよく口の中を洗浄し、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。
皮膚に付着した場合は、多量の石鹼水で洗い流し、痛みまたは外観に変化のある場合は、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。
目に入った場合は、直ちに多量の水で目を洗浄し、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。
ガスを吸入した場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。

廃棄方法

廃棄の際は中身を使い切ってから、セメントが飛び散っても差し支えの無い場所で、噴射音がしなくなるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いて下さい。
本体に『ガス抜き済み』と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。